

## 担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展

対象者 JAみやぎ仙南角田梨部会 2人, JAみやぎ仙南蔵王地区なし部会 3人  
若手果樹生産者8人（白石市2人, 蔵王町4人, 大河原町1人, 丸森町1人）

### 現状と課題

- 仙南地域は果樹生産が盛んで、県全体の産出額26億円のうち、半数の13億円を占める。中でも、日本なしは、県全体の栽培面積152haのうち84haと県内一の産地である。
- 果樹生産者の高齢化に伴い、担い手不足が問題となっており、産地の維持が困難な状況である。
- 後継者不在の果樹園における円滑な事業継承などの態勢整備や、後継者として果樹栽培を始める若手生産者の育成が課題となっている。



光センサーによる蔵王梨共同選果場



廃園化される果樹園（蔵王町塩沢果樹団地）

### 今年度の取組

#### 1 担い手確保に向けた検討

- 営農意向調査（令和3年4月の凍霜害被害調査を含む）  
調査対象：JAみやぎ仙南角田地区梨部会10戸, 蔵王地区なし部会70戸  
調査項目：凍霜被害状況, 防霜対策, 5～10年後のなし園面積の増減, 後継者の有無, 就農研修生の受入れ, 面積を維持するための条件等  
調査方法：JAなし部会, 市町と協力して, 全戸訪問による聞き取り調査  
調査機関：令和4年7～8月  
結果報告：JAなし部会出荷報告会で生産者に報告, 現状や課題の情報共有に努めた。
- 担い手育成支援に取り組む優良事例調査  
調査対象：大江町就農研修生受入協議会（山形県大江町）  
株式会社 四季ふぁ～む（山形県寒河江市）  
調査事項：就農研修生の受入れ態勢, 新規就農者の支援について

#### 2 若手果樹生産者における栽培技術の習得, 向上

- JAみやぎ仙南白石地区果樹部会現地検討会（3回）りんご栽培について
- 若手りんご生産者研修 ジョイント, 高品質栽培について（登米市）
- 若手りんご生産者研修 りんごせん定実技講習（亙理町）
- 千葉県ナシ病害防除支援情報システムで防除情報提供による適期なし黒星病防除指導

## 活動の成果

### 1 担い手確保に向けた検討

- 営農意向調査（令和3年4月の凍霜害被害調査を含む）  
調査結果の概要
  - ・ 凍霜害ではなし「新高」の減収率が大きく、防霜対策では防止剤の導入希望が多かった。
  - ・ 果樹経営の継続には老朽化した樹の改植や手入れが必要とされ、担い手の継承でも改植が必要な状況であった。
  - ・ 果樹経営を継続する条件としては、労働力、ジョイント栽培、古くなった樹の改植、顧客の存在、価格（800円/kg以上）などが挙げられた。
  - ・ 後継者がいるなし農家は、手伝いを含めて、角田市が5戸、蔵王町が18戸で、そのうちおおむね5年以内に就農した若手のいる農家が角田市1戸、蔵王町8戸であることが確認できた。また、若手は相互のつながりが希薄で孤立している印象を受けた。

#### 今後の展開

- ・ 繁忙期支援 摘果・収穫期の支援態勢づくり シルバー人材センターの活用など
- ・ 新規参入支援 就農研修生受入れ態勢づくり，新規就農者支援，農の雇用制度の活用
- ・ 園地老朽化対策支援 ジョイント栽培の導入等計画的な改植
- 優良事例調査  
大江町就農研修生受入協議会（山形県大江町）  
株式会社 四季ふぁ～む（山形県寒河江市）  
就農研修生の受入れ態勢，新規就農者支援，農の雇用の活用について，研修生の募集，研修内容，農地の確保，宿泊施設，作業場や農業機械の貸出制度など参考となった。

### 2 若手果樹生産者における栽培技術の習得，向上

他産地の若手と技術交流が深められた。

- J Aみやぎ仙南白石地区果樹部会現地検討会（3回）に若手が参加し，ベテラン農家から栽培指導を受けた。
- 若手りんご生産者研修（登米市）ジョイント栽培技術に触れ，意欲が高い産地の姿勢を学ぶことができた。
- 若手りんご生産者研修（亘理町）今冬の自園のせん定作業の参考となった。
- 千葉県ナシ病害防除支援情報システムで防除情報提供したことで，適期にナシ黒星病の防除ができ，昨年より発生が格段に少なかった。



せん定実演を受ける若手

## 残された課題と今後の対応

- 営農意向調査で規模を縮小する意向のある農家が確認できたので，廃止予定園地の有無や継承を今後詳細に確認する必要がある。
- 後継者候補のいる農家7戸について今後の就農希望を確認しながら，仲間づくり，技術取得の支援を行う必要がある。
- J A部会，市町と連携して就農研修生の受入れや新規就農者支援の仕組みづくりについて検討を行う必要がある。
- 令和3年に就農した若手がいる農家が6戸あり，経営主による技術継承に加え，若手同士の技術交流が必要である。若手果樹生産者の技術交流会，先進地視察を行う。